

学 会 だ よ り

2006年4月～2007年3月

研究会の開催

〈経済学部研究会〉

経済学部研究会

6月22日(木) 16:00～17:30

経済学部研究資料センター〔共同研究室(3-408)〕

報告者 石井 光 氏 (本学経済学部専任講師)

報告課題 「スピルオーバーを伴った2つの垂直的關係にある寡占における共同研究開発」

経済学部研究会

10月26日(木) 15:30～17:00

経済学部研究資料センター〔共同研究室(3-408)〕

報告者 佐々木 洋 氏 (本学経済学部教授)

報告課題 「日本資本主義の設備投資循環(1955-2005年)」

経済学部研究会

11月30日(木) 15:30～17:00

経済学部研究資料センター〔共同研究室(3-408)〕

報告者 石井 光 氏 (本学経済学部専任講師)

報告課題 「Access Pricing with Strategic Investment」

経済学部研究会

12月27日(木) 16:30～18:00

経済学部研究資料センター〔共同研究室(3-408)〕

報告者 白石英才 氏 (本学経済学部専任講師)

報告課題 「まだまだできるロシア極東でのフィールドワーク：サハリンは日本の研究者には宝の山」

経済学部研究会

3月1日(木) 15:30~17:30

経済学部研究資料センター〔共同研究室(3-408)〕

報告者 皆木建男 氏(北星学園大学経済学部)

報告課題 「債券市場の効率性」

著書・論文・翻訳など

浅川 雅 巳：(分担執筆)『21世紀とマルクス——資本システム批判の方法と理論』

・発行所 桜井書店

・発行年月日 2007年3月28日

河西 邦 人：(著書・単著)『ドラマで学ぶ経営学入門』, PHP 研究所, 2007年2月

：(論文)「公営スキー場の経営再生」, 『札幌学院商経論集』第23巻第1号, 札幌学院大学, 2006年7月(学術論文)

：(論文)「地域経営における第三セクター活用戦略の失敗」, 『札幌学院商経論集』第23巻第2号, 札幌学院大学, 2006年7月(学術論文)

：(論文)「持続的経営論～秋山愛生館を事例に～」, 『札幌学院商経論集』第23巻第2号, 札幌学院大学, 2006年7月(学術論文)

児玉 敏 一：(分担執筆)『経営教育学事典』日本経営教育学会編, 学文社, 2006年6月

白石 英才：(論文)“Topics in Nivkh Phonology” 2006年9月。フローニンゲン大学(オランダ)に提出された博士論文。「学術研究論文」(教授職3名による査読付。内訳：ロンドン大学2名, ナイメーヘン大学(オランダ)1名)。

：(著書)“Topics in Nivkh Phonology” 2006年11月。博士論文を札幌学院大学同窓会自費出版助成により公刊したもの。

：(論文)「ニヅフ(ギリヤーク)の縫い方」『北海道立北方民族博物館研究紀要』第16号 p.69-76. 笹倉いる美との共著。2007年3月。「学術研究論文」

：(論文)「ニヅフ語の植物名称：東方言を中心に」『北海道開拓記念館研究紀要』第35号 p.1-10. 水島未記・丹菊逸治との共著。2007年3月。「学術研究論文」

：(資料紹介)「北東アジアの諸言語にかんする注釈つき年代別文献リスト」津曲敏郎(編)『環北太平洋の言語』第14号 p.167-246. 小野智香子・長崎郁・風間伸次郎・山越康裕・藤代節との共著。2007年3月

- 高懸雄治：(共著)「通貨危機の現代的様相——新興国の1990年代——」奥田宏司・横田綏子・神沢正典編『現代国際金融——構図と解明——』法律文化社，2006年4月
- ：(書評)「萬谷迪『世界開発と南北問題』(八朔社)，2004年4月」『経済』2006年5月号
- 中村永友：(査読付論文) Hotta, S., S. Kubota, N. Nakamura and K. Hosaka (2006), Wind-tunnel study of vertical distribution of sand transport rate by wind, Coastal Engineering 2006: Proceedings of the 30th International Conference, San Diego, California, USA, 3-8 September 2006-US-, 2604-2616.
- ISBN: 9789812706362, Smith, Jane McKee (EDs), World Scientific.
- ：(口頭発表) 中村永友，土屋高宏，堀田新太郎，久保田進 (2006)，焦点を持つ回帰直線群の推定，第20回計算機統計学会，2006.5.20-21，同志社大学
- ：(口頭発表) 石川千温，中村永友，渡辺慎哉，小池英勝 (2006)，学習者の自学自習を支援するエクセル用自己採点ツールの開発，2006年度 PC Conference, CIEC(コンピュータ利用教育協議会)——全国大学生生活協同組合連合会主催，2006.8.3-5，立命館大学
- ：(口頭発表) 皆川雅章，三浦憲一，小池英勝，佐藤了，新國三千代，渡辺慎哉，中村永友，石川千温，梅田充，中澤謙 (2006)，教科「情報」から大学情報教育への接続における高大連携の試み，2006年度 PC Conference, CIEC (コンピュータ利用教育協議会)——全国大学生生活協同組合連合会主催，2006.8.3-5，立命館大学
- ：(口頭発表) Hotta, S. Kubota, S. Nakamura, N. and K. Hosaka (2006), Wind-tunnel study of vertical distribution of sand transport rate by wind, 30th International Conference on Coastal Engineering, 2006.9.3-8, San Diego, USA, The Manchester Grand Hyatt San Diego.
- ：(口頭発表) 中村永友 (2006)，途中打ち切り・切断があるデータへの回帰直線のあてはめ，2006年度統計関連学会連合大会(日本統計学会第75回大会，応用統計学会年次大会，日本計量生物学会年次大会)，東北大学，2006.9.5-8
- ：(口頭発表) 土屋高宏，中村永友 (2006)，原点を通る線形回帰モデルとその周辺，2006年度統計関連学会連合大会(日本統計学会第75回大会，応用統計学会年次大会，日本計量生物学会年次大会)，東北大学，2006.9.5-8

- : (口頭発表) 渡辺慎哉, 石川千温, 中村永友 (2007), 大規模演習科目における公平性確保の試み, 2006 年度札幌学院大学 FD フォーラム, 札幌学院大学, 2007.1.16
 - : (口頭発表) 中村永友, 土屋高宏 (2007), 焦点を持つ回帰直線群の推定と原点を通る回帰直線, 九州大学 21 世紀 COE 統計科学セミナー, 九州大学, 2007.2.16
 - : (口頭発表) 石川千温, 中村永友, 渡辺慎哉, 小池英勝 (2007), 教科「情報」を履修した入学生へのコンピュータリテラシー教育, 教育システム情報学会 2006 年度第 6 回研究会, 千里金蘭大学, 2007.3.17
- 三 木 敏 夫 : (論文など) *The Present Management Situation of Japanese-related-companies in Malaysia, Regions on a Global Platform*, 9th PRSCO Summer Institute (2006) Regional Science Conference (KL, Malaysia), 2006 年 7 月 (学術研究論文)
- : 「世界貿易機関(WTO)と自由貿易(FTA): 東アジア共同体の現実と展望」札幌学院大学『商経論集』第 23 巻第 1 号 2006 年 7 月 (学術研究論文)
 - : 「多国籍企業化する中小企業(SMEs)」亜細亜大学『アジア研究所所報』2006 年 12 月 19 日 第 125 号
 - : 「アジアの経済発展を支える女性の社会進出」『世界経済評論』(社)世界経済研究会 2007 年 1 月号 (学術研究論文)
 - : 「東アジアにおける中小企業(SMEs)の多国籍企業化」『世界経済評論』(社)世界経済研究会 2007 年 3 月号 (学術研究論文)
 - : 「マレーシアの中小企業の現状と問題点」(財)国際貿易投資研究所(ITI) 2007 年 3 月 (依頼原稿)
- 光 武 幸 : (分担執筆) 辞典『マーケティング・コミュニケーション大辞典』13 項目担当 宣伝会議 2006 年 4 月
- : (著書) 『釧路内陸部の地域形成と観光マーケティング』(小内純子, 湯川郁子と共著) 創風社 2007 年 3 月 (学術研究論文)
 - : (論文) 「日・タイ観光交流促進に寄与する新しい観光資源」『札幌学院商経論集』第 23 巻第 1 号, (Bung-On Chartrungruang と共著) 2006 年 7 月
 - : (論文) "A Study on the Promotion of Tourism between Japan and Thailand: Before- and After- Travel Images of Sapporo and Its Hot Springs in the Viewpoints of Thai Tourists" 『札幌学院商経論集』第 23 巻第 3・4 合併号, (Bung-On Chartrungruang と共著) 2007 年 3 月

- 谷 沢 弘 毅：(著書)「方面委員から民生委員へ——生活保護政策における歴史の分断と継続」社会政策学会編『格差社会への視座——貧困と教育機会』（社会政策学会誌，第17号）法律文化社，平成19年3月。
- ：(論文)「方面委員から民生委員へ——生活保護政策における歴史の分断と継続」札幌学院大学商学会・経済学会編『札幌学院商経論集』第23巻第1号，平成18年7月。
- ：(論文)「戦前東京における高額所得者の階層移動（試論）」札幌学院大学商学会・経済学会編『札幌学院商経論集』第23巻第2号，平成18年10月。
（中村研二日本政策投資銀行地域政策研究センター主任研究員，播磨谷浩三札幌学院大学助教授との共著）
- ：(依頼原稿)「自著紹介，『経済統計』（コア・テキスト，第6巻）新世社，2006年」札幌学院大学図書館編『書林』第70号，平成18年11月。

研究発表・講演など

- 石 井 光：(学会発表)「スピルオーバーを伴った2つの垂直的關係にある寡占における共同研究開発」応用経済学会 2006年度春季大会 2006年6月10日・11日 福岡大学
- 河 西 邦 人：(講演)「協働による沼田づくり」，沼田町町民研修会，沼田町役場，沼田町教育研修センター，2006年6月27日
- ：(講演)「魅力ある地域を目指して」，広域商工会協議会研修会，黒松内町商工会，寿都町総合文化センター，2006年6月28日
- ：(講演)「地域力を活かした地域づくり」，後志支庁管内生涯学習研修会，後志支庁教育庁，泊村公民館，2006年6月29日
- ：(講演)「コミュニティビジネスによる地域力向上」，地域力を考える道民講座，北海道企画振興部，かでの2・7，2006年10月24日
- ：(講演)「地域づくりにおける協働の重要性」，地域生涯学習活動実践交流セミナー，北海道立生涯学習推進センター，千歳公民館，2006年11月9日
- ：(講演)「地域力の創造」，シンクタンク福島研究会，シンクタンク福島，ユニックスビル，2006年11月14日
- ：(講演)「協働による地域づくり」，黒松内町まちづくり研修会，黒松内町教育委員会，黒松内町教育文化センター，2007年1月26日
- ：(講演)「元気なまちの経営学」，全漁連青年部会，全漁連青年部会事務局，水産ビル，2007年3日

- ：(講演)「地域住民による活動の輪を広げるために」,十勝管内社会教育関係職員研修会,十勝管内教育委員会連絡協議会,十勝教育研修センター,2007年2月26日
- 藏 田 親 義 : (コーディネーター)「日豪交流の現状と将来展望——観光と文化の視点から——」『北海道日豪協会創立25周年記念フォーラム』北海道日豪協会(センチュリーロイヤルホテル) 2006年10月28日
- ：(コーディネーター)「“札幌のまちづくり”の考えを聞く」『中央区選出市議候補を囲むフォーラム』札幌青空会(札幌市民会館)2007年3月19日
- 白 石 英 才 : (研究発表) Cyclic lenitions.研究会名: Workshop on strength relations in phonology. 主催団体, 場所: 東北学院大学。2006年9月5日開催
- ：(研究発表) Nivkh consonant mutation as information loss 研究会名: The Sound Circle meeting. 主催団体: The Sound Circle. 開催場所: ライデン大学(オランダ)。開催年月日: 2006年9月13日
- ：(学位取得のための口頭試問) Topics in Nivkh Phonology 研究会名: Public defense at the University of Groningen. 主催団体, 場所: フローニンゲン大学(オランダ)文学部。開催年月日: 2006年9月14日
- ：(シンポジウム司会) テーマ: ソ連邦崩壊と日本語学——北東アジアにおける20年間のフィールドワークの歩み—— 日本語学会第133回大会 主催団体: 日本語学会。場所: 札幌学院大学。2006年11月18日
- 三 木 敏 夫 : (発表) 7月18日, テーマ: *The Present Management Situation of Japanese-related-companies in Malaysia*, 9th PRSCO Summer Institute (2006) Regional Science Conference Organization, Berjaya Times Square Hotel & Convention Center, KL, Malaysia
- ：(発表) 9月9日, テーマ: 「FTAは東アジア共同体のプラットホームとなるか」 多国籍企業研究会9月例会(於 国際文化会館)
- ：(討論者) 2006年7月18日, テーマ: Ernest Cyril De Run (Universiti Malaysia Sarawak), *Assessing the Effects of Ethnically-Targeted Advertising: A Test of Malay and Chinese Respondents*, 9th PRSCO Summer Institute (2006) Regional Science Conference Organization, Berjaya Times Square Hotel & Convention Center, KL, Malaysia
- 谷 沢 弘 毅 : (シンポジウム)「方面委員から民生委員へ」平成18年6月3日に, 立教大学池袋キャンパスで開催された「第112回社会政策学会春季大会」の共通論題『「格差社会」のゆくえ』において発表。

- : (研究発表)「近代日本の所得分布に関する覚書——研究方法論を中心として」平成18年6月10日に、大分大学経済学部で開催された、科学研究費補助金(研究代表者: 薛進軍大分大学経済学部教授)による「深圳家計調査ワークショップ」において発表。
- : (研究発表)「経済統計から見た戦前日本の家族経済」平成18年11月11日に、学習院大学目白キャンパスで開催された、科学研究費補助金基盤研究(C)(研究代表者: 西郷浩早稲田大学政治経済学術院教授)による「経済統計研究会」において発表。
- : (研究発表)「『近代日本の所得分布と家族経済』: その主要論点」平成18年11月20日に、東北大学川内キャンパスで開催された、21世紀COEプログラム「社会階層と不平等研究教育拠点」(研究代表者: 佐藤嘉倫東北大学文学研究科教授)による「第11回ワークショップ」において発表。